ひふみワールド年金

2024年8月5日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

8月5日の「ひふみワールド年金」の基準価額下落について

平素よりひふみワールド年金をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

本日ひふみワールド年金の基準価額が13,355円（前営業日比－716円）、下落率－5.09％と下落し、ご心配をおかけしています。ドル円相場で円高・ドル安が急伸したこと、足元の業績に対して割高となっていた米国の半導体関連銘柄の株価調整局面が重なったことなどが基準価額下落の要因です。

ひふみワールド年金の中心的な欧米投資先企業の足元の業績は、消費関連銘柄が徐々に業績見通しを引き下げており、予想通り全般的な景気減速感が見られます。年初から市場をけん引しているAI関連銘柄は、マイクロソフトなどクラウドサービス・プロバイダー企業の巨額投資が継続される一方、収益化に時間がかかりそうとの懸念もあります。投資とその回収までの時間差はおおむね予想の範囲内だと考えますが、業績を注視しつつ慎重な投資姿勢で臨んでいます。AIの利用者であり投資者でもあるメタ・プラットフォーム社（旧Facebook）の第2四半期（4～6月期）の業績は予想以上に広告収入が堅調であったことに驚きがありました。継続的事業投資の裏付けに収益の安定性が必要であることから市場では一定の安心感が広がりました。昨年来継続しているAI、半導体関連全般のバリュエーションの拡大は投資姿勢を慎重にせざるを得ないと考えます。ひふみワールド年金では半導体関連、およびAI関連銘柄への投資比率は年初から徐々に削減している一方、業績見通しが比較的安定しているヘルスケア、防衛関連、公共事業関連銘柄への投資比率を若干高めに維持しています。また、株式市場の更なる調整局面で今後の投資機会をうかがえるようポートフォリオ全体で10％程度の現金を保有しています。

基準価額変動の大きな要因となっている為替相場は操縦できるものではありません。市場介入の影響は時間の経過とともに徐々に修正され、日米の金利差、生産性や付加価値の差などをもとにした為替水準に収れんすると考えます。私たち運用本部メンバーは引き続き、元気で世界を明るくする企業を探し続けています。しばらくご心配をおかけしますが、長期積立て投資を続けていただき、明るい未来を想像しつつひふみワールド年金を見守ってくだされば幸いです。

ひふみワールド年金運用責任者

湯浅 光裕

ひふみワールド年金　リスク / 費用

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

◆ お客様に直接ご負担いただく費用

- 購入時手数料　　販売会社が定める料率とします。
- 換金（解約）時手数料　ありません
- 信託財産留保額　　ありません。

◆ お客様に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬

委託会社	販売会社	受託会社	合計
0.539%	0.539%	0.022%	**1.100%**
（0.490%）	（0.490%）	（0.020%）	（1.000%）

※上段は年率、下段は税抜年率

- その他費用・手数料　組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税等）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。監査費用は日々計算されて、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。
設定・運用、詳細情報の照会先：03-6266-0129 （受付時間 営業日の9時～17時）　https://hifumi.rheos.jp/

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料はレオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家のみなさまに情報提供を行なう目的で作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 当資料のコメント等は、掲載時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します

RHEOS CAPITAL WORKS
レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第1151号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

作成：2024年８月